

# オーライ！ニッポン大賞 審査委員会長賞

## ゆ に ちょう 由 仁 町

ほっかいどう ゆ に ちょう  
北海道 由仁町



ゆにガーデン

### 講 評

由仁町の基幹産業である農業とまちづくりの課題を同時に解消するため、基本コンセプトを「ハーブ」に据え、交流拠点である「ゆにガーデン」を中心として、ハーブの持つ多様性に着目した地域の活性化を図っている。また、都市からの定住の促進に取り組むため建設された「優良田園住宅地」では、新旧住民のコミュニティ形成を重視し、コーポラティブ方式を採用し、対話を通じた信頼作りや、協働の仕組みを組み込むなど、地域おこしと定住促進を組み合わせている点が評価された。

由仁町 <http://www.town.yuni.lg.jp/>

## とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 尾上町蔵保存利活用促進会

おのえまちくらほぞん りかつようそくしんかい

あおもりけん ひらかわし おのえまち  
青森県 平川市 (旧尾上町)



蔵農家庭園ウォッチング

### 講 評

「農家蔵の町・グリーン・ツーリズムの町」としての全国ブランド化を目指し、旧尾上町の農家が所有する農家蔵の調査や蔵マップの発刊、蔵フォーラムの開催等各種事業を実施し、蔵保存と利活用を推進する活動を行っている。また平成16年より首都圏の中学校の修学旅行(H17年262人)を受け入れている。蔵という既存ストックの利活用と、グリーン・ツーリズム、町づくりを結びつけた個性的な活動を行っている取り組みである点が評価された。

特定非営利活動法人尾上町蔵保存利活用促進会  
<http://www4.ocn.ne.jp/~kura-334/>

# オーライ！ニッポン大賞 審査委員会長賞

かたしなむら のうぎょうきょうどう くみあい

## 片品村 農業協同組合

ぐんまけん かたしなむら  
群馬県 片品村



体験学習「稲刈り体験」

### 講評

冬期スキー民宿を営む農家民宿の年間を通じた受入れを図るため、地域の自然や農業を活かした交流事業を展開。昭和62年度より中山間地域の経営安定等地域の活性化に寄与することを目的に営農指導業務の中に農業観光担当を設置し、グリーン・ツーリズムの受入れ組織として先駆的な取組みを開始。「子ども長期自然体験村」の実施や登録民宿の組織化、外国人旅行者や姉妹提携の都市・JA、グリーンライフの受入れ等を行っている。平成17年には農家民宿の「どぶろく特区」などグリーン・ツーリズムビジネスのモデルを創出し、中山間地域の活性化に貢献している点が評価された。

片品村農業協同組合

<http://www2.ocn.ne.jp/~jaoze/index2.html>

ろうどう くみあい

## ユニチカ労働組合

おおさかふ おおさかし  
大阪府 大阪市



ユニチカの森林づくりの様子

### 講評

平成14年より、組織統合30周年の記念事業「緑のプラン」(森林保護の取組みを通じ自然の大切さを学び、環境問題に対する意識高揚を図るとともに組合員のリフレッシュ、レクリエーションの場を提供)として、和歌山県日高川町の森林2haを借り入れて環境保全のための森林づくりを行っており、和歌山県内で13団体が取り組む「企業の森」第1号である。組合員やその家族が年2回の下草刈りと木工・竹細工などの田舎体験を行い、地元の「中津ゆめ倶楽部21」の体験メニュー活用し、宿泊は「きのくに中津荘」と業務提携しプライベートとしても活用できる福利厚生施設にもなっているなど、企業の社会貢献活動の先駆的な取組みが評価された。

日高川町 <http://www.vill.nakatsu.wakayama.jp/hidakagawa/>

ユニチカユニオン <http://www.unitika-union>

# オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞

とくいでいひえいりかつどうほうじん しんでん うんえい い いんかい  
特定非営利活動法人 新田むらづくり運営委員会

とっとりけん ちづちよう  
鳥取県 智頭町



田んぼの学校

## 講評

人口減少、高齢化に悩む新田地区が平成3年の大阪いずみ市民生協との交流を契機に体験交流事業に取り組んでいる。平成6年から5年毎に活性化計画を策定して事業を推進するとともに平成12年には集落型NPO法人を設立し、子ども達の健やかな成長を目的とする「田んぼの学校」の体験交流事業だけでなく、伝統芸能の保存や「新田カルチャー講座」といった勉強会の開催、小さな公共事業（農道、水路等の整備）、小さな福祉事業（ミニデイサービス等）を実施するなど取組活動も充実しており、集落ぐるみで集落の活性化に取り組んでいる点が評価された。

特定非営利活動法人 新田むらづくり運営委員会  
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~SHINDEN/>

ざいだんほうじん あそ  
財団法人 阿蘇グリーンストック

くまもとけん あそし  
熊本県 阿蘇市



野焼き支援ボランティア活動

## 講評

千年以上もの間、地元農家（牧野組合）で維持管理され、貴重な動植物の宝庫として知られる阿蘇の草原の保全を目的に1995年に発足。中でも都市からボランティアを募り、草原維持の困難な牧野に派遣し、野焼きや輪地切り支援活動を行う「野焼き支援ボランティア活動」は、初心者研修の受講も義務付けていることから技術的な質も高く、登録会員数が500名を越える。この活動で8町村22牧野組合での野焼き（約4000ha）が維持されるなど、都市と農村、行政、企業、学校が連携した環境保全活動を行っている点が評価された。

財団法人 阿蘇グリーンストック  
<http://www.aso.ne.jp/green-s/>

## ライフスタイル賞 講評

ライフスタイル賞は、Iターン等により農山漁村において個性的で魅力的な新しいライフスタイルを実践している方について、広くその生き方を紹介し、これから農山漁村に住んでみたい、行ってみたいと思う方への参考としてもらうことを目的としています。

審査委員会では、4つの審査基準（\*）をもとに、各委員の視点から様々な角度で審査を行いました。特に「地域に密着して活動していること」「新しい発想と行動力で地域に刺激を与え波及効果を生んでいること」「外に向かってのアピール力があること」「自身の明確な目標やこだわりを持って取り組んでいること」「その方が楽しく生活をしていること」などという点に着目し、ライフスタイル賞を選定しました。

受賞者の選定については、それぞれが信念を持って独自性のあるライフスタイルを確立しており、選定作業は大変苦勞しましたが、5件の方々は、地域への密着度と貢献度についての評価が高く今年度のライフスタイル賞に選ばれました。

このような方々の生き方や取組みを参考として、今後、各地域において新たなライフスタイルが生まれ、そして一層普及することにより、都市と農山漁村の共生・対流が推進することを期待するものです。

### （\*）ライフスタイル賞 審査基準

- ア 農山漁村を舞台とした新たなライフスタイルを実践していること。
- イ 個性的で魅力のある活動であること。
- ウ 新たなライフスタイルの実践に継続性があること。
- エ 新たなライフスタイルが他の人の参考となるものであること。

# ライフスタイル賞

しょうじ ゆうこ  
庄司 祐子

やまがたけん つるおかし  
山形県 鶴岡市



## 講評

結婚相手の故郷へのIターンをきっかけに農業を始め、当時まだ新分野であった「食」と「グリーン・ツーリズム」を結びつけ、農場イタリアンレストラン「穂波街道」の経営に着手。お客様に五感で農業と田舎の生活に触れてもらい、その充実感をおすそ分けしたいと、店の隣の農地を活用して、3反歩の水田に合鴨を放し、その内の1反歩には美しく色づく古代米を作付するなど、自分なりにコーディネートしている。また年間を通じて研修生を受入れるなど、地域のグリーン・ツーリズム活動にも貢献しており、農村生活に根ざした新しいビジネス展開と、農村で豊かな生活を楽しんでいる姿が魅力的である点が評価された。

農場レストラン穂波街道 <http://www.honamikaido.co.jp/>

# ライフスタイル賞

あきやま よしお  
秋山 恵生

ながのけん しなのまち  
長野県 信濃町



## 講評

東京から信濃町の野尻湖に程近い山里にIターンし、信越高原をメインフィールドにインタープリテーションを中心としたトレッキングやスノーシューの企画運営を行う「ネイチャーガイド風樹」を主宰。また「トマトの会」（地域づくりを考える有志の会）に参加しその仲間とともに、エコメディカル&ヒーリングビレッジ事業（癒しの森事業）を中核とした地域づくりに参画している。森林メディカルトレーナーとしての活動や執筆活動等を通じて森林療法の一般的な認知を高める活動を精力的に展開している点が評価された。

オフィス 花静庵（秋山 恵生氏事務所）

<http://www3.plala.or.jp/kaseian/index.html>

# ライフスタイル賞

せこ いくじ すみこ  
瀬古 育二・純子

ぎふけん げろし  
岐阜県 下呂市



## 講評

3年前に退職を機にこの地へ移り住み、これまでの国内外の各地への転勤生活では気がつかなかったこと、見えていなかったこと、また田舎の現状などを現役で働く友人達に伝えたいと「せこやたより」を2ヶ月に1度発信している。また、この地域を知ってもらうために、たくさんの友人を招き、地元の方々との交流を図りたいと、畑を耕しながら地元の人々との付き合いを大切にするなど、美しい自然の残る馬瀬地区の生活を楽しみながら、その土地の魅力の情報発信を地道に行っている点が評価された。

下呂市 <http://www.city.gero.lg.jp/HP/index.cfm>

# ライフスタイル賞

お ち もとゆき  
越 智 資 行

えひめんけん いまばりし  
愛媛県 今治市



## 講 評

平成10年8月に生涯をかけて自然環境保全活動を実践すべく脱サラし、瀬戸内の大三島へ就農。自宅に宿泊させる産地見学の受け入れや、環境NPO法人との交流による農業体験の受入活動を行っている。また、平成16年には、島の小学生による総合学習をきっかけに、島民の一般家庭でも環境の意識が高まる中で、役場や生産者とともに「大三島愛ランド自然倶楽部」や「自然探検隊」を発足するなど、地域に溶け込み環境保全活動に精力的に活動している点が評価された。

今治市 <http://www.islands.ne.jp/imabari/>